

社会資本総合整備計画書

（木之本宿地区都市再生整備計画）

滋賀県 長浜市

令和8年9月

社会資本総合整備計画				社会資本整備総合交付金				令和08年03月03日						
計画の名称	北国街道木之本宿を中心とした歴史・文化を活かしたまちづくり													
計画の期間	令和05年度～令和09年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	長浜市													
計画の目標	大目標：お地蔵様の門前町としての交流・賑わいの再生と、北国街道がつなぐ歴史・文化が香る木之本宿の拠点づくり 目標：回遊性を高め、賑わいの創出に資する生活基盤の強化 目標：木之本宿の歴史を活かしたまちの魅力向上と観光拠点機能の強化 目標：「結」が創る、おもてなしと支え合いの宿場まち													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		553	A	553	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初		R9末
1	地蔵坂・北国街道における歩行者・自転車の通行者の平日・休日平均人数を489人から1,100人以上に増加させる。 通行者の平日・休日平均人数 地蔵坂・北国街道の歩行者・自転車の通行者の平日・休日の通行者数を調査する。			
		489人/12時間	人/12時間	1100人/12時間
2	木之本宿の観光入込客数の1年間の合計人数を11.8万人から30万人に増加させる。 観光入込客数 地域の観光施設の入込客数を調査する。			
		12万人	万人	30万人
3	地域人口の5年減少率を87.42％から87.50％以上に低下させる。 人口減少率 地域人口を把握し、5年間の減少率を算定する。（評価時点人口÷評価時点5年前の人口）			
		13％	％	12％

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	長浜市	直接	長浜市	-	-	木之本宿地区都市再生整備計画（まちなかウォークアブル推進事業）	道路修景整備事業（カラー舗装・水路改修）、道路消雪整備事業、駐車場整備事業、観光案内版設置事業 他 A=86ha	長浜市	■	■	■	■	■	553		-	
											小計							553		
											合計							553		

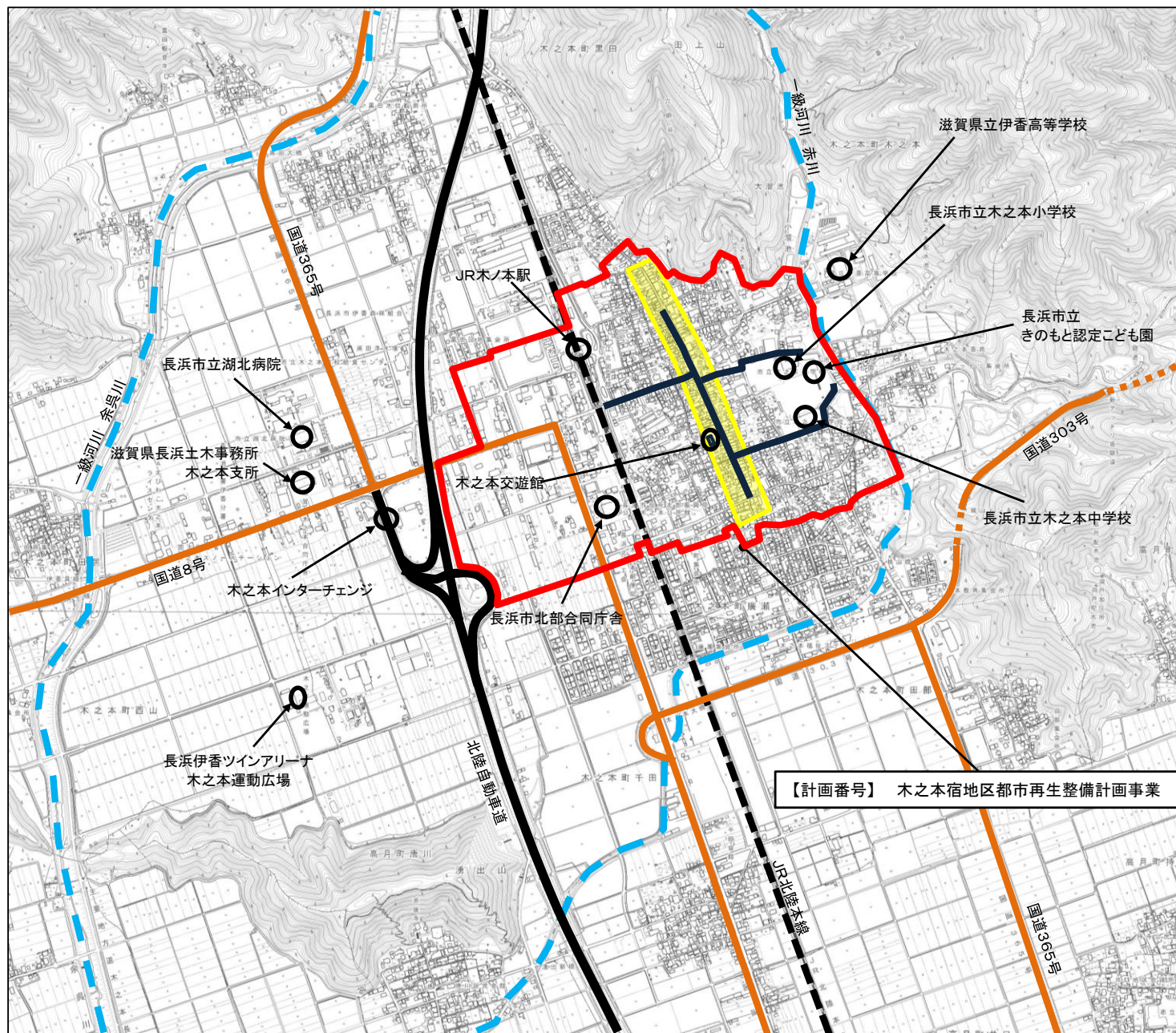
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05	R06	R07	R08	
配分額 (a)	31	46	42	87	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	31	46	42	87	
前年度からの繰越額 (d)	0	16	15	30	
支払済額 (e)	15	47	27	0	
翌年度繰越額 (f)	16	15	30	0	
うち未契約繰越額(g)	2	2	3	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	117	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	6.45	3.22	5.26	100	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面)

計画の名称	北国街道木之本宿を中心とした歴史・文化を活かしたまちづくり		
計画の期間	令和5年度 ～ 令和10年度 (6年間)	交付対象	滋賀県長浜市



- 凡 例

 -  都市再生整備計画区域
(滞在快適性等向上区域)
 -  景観形成重点区域
 -  整備対象道路(市道)
 -  整備対象施設(駐車場)
 -  幹線道路(国道)
 -  鉄道
 -  河川
 -  主要施設

事前評価チェックシート

計画の名称： 北国街道木之本宿を中心とした歴史・文化を活かしたまちづくり

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

[illegible]